

農林水産商工委員会資料

(農林水産部所管分)

■ 報告事項

- ① 1月6日島根県東部を震源とする地震に係る被害状況と対応について … P1～P3
- ② 中海の養殖サルボウガイの貝毒による出荷自粛について … P4

令和8年1月16日
農 林 水 産 部

1 月 6 日島根県東部を震源とする地震に係る被害状況と対応について (令和 8 年 1 月 15 日現在)

1. 点検状況（地震発生時の点検マニュアルに基づき実施）

①農業用施設

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ○農業用ダム 4 箇所（県 1、市町村 2、土地改良区 1） | 点検終了・異常なし |
| ○ため池 409 箇所（市町村等 409） | 点検終了・異常なし |
| ○海岸保全施設 8 箇所（県 8） | 点検終了・異常なし |

②治山施設

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ○治山ダム、落石防止柵 114 箇所（県 114） | 点検終了・異常なし |
|---------------------------|-----------|

③漁港施設

- | | |
|--------------------|-----------|
| 83 漁港（県 28、市町村 55） | 点検終了・異常なし |
|--------------------|-----------|

2. 被害状況（継続調査中）（民間施設も含む）

①農地・農業用施設

44 箇所 [松江市（揖屋干拓地）]

【内訳】

一部農地の液状化※	3 箇所
農道のひび割れ	15 箇所
水路の損傷	25 箇所
排水機場の階段損傷	1 箇所

※土壌採取・分析の結果、塩水が噴出していないことを確認

②林道

1 箇所 [出雲市]

③治山・林地

1 箇所 [安来市]

④農業用共同利用施設等

11 箇所 [松江市、出雲市、安来市、雲南市、飯南町]

⑤造林地等

0 箇所

⑧漁港施設 0 漁港

⑨県立施設

○水産技術センター浅海科庁舎 [松江市]
・壁にひび割れあり

3. 対応状況

- 農林水産振興センター等に農林水産関係相談窓口を設置
(設置日：1月7日)
- 農林水産省中国四国農政局と合同で現地調査を実施し、対応を検討
(実施日：1月9日 調査先：松江市)
- 林野庁近畿中国森林管理局と合同でヘリコプターによる山林及び大仁農道の被害状況調査を実施
(実施日：1月9日 調査先：松江市、安来市、雲南市、奥出雲町)

1月6日島根県東部を震源とする地震に係る被害状況(農林水産関係被害)

令和8年1月15日 9時 現在

区 分			被害の規模	市町村	被害の概要
農地・農業用施設	農地被害 (田畑、畦畔等)	箇所	3	松江市	農地の液状化3箇所(損屋干拓地における被害) ※土壌採取・分析の結果塩水が噴出していないことを確認
		千円	調査中		
	農業用施設 (農道、水路等)	箇所	41	松江市	水路の損傷25箇所(損屋干拓地における被害) 道路のひび割れ15箇所(損屋干拓地における被害) 排水機場の階段損傷1箇所(損屋干拓地における被害)
		千円	調査中		
	小計	千円	0		
林道・治山	林道施設被害	箇所	1	出雲市	林道への落石 人的被害なし
		千円	300		
	治山施設被害	箇所			調査中(これまでのところ被害報告なし)
		千円			
	林地被害	箇所	1	安来市	山腹崩壊 人的被害なし
		千円	30,000		
	小計	千円	30,300		
		千円	30,300		
農作物等	農作物	水稲	面積		調査中(これまでのところ被害報告なし)
			千円		
		果樹	面積		
			千円		
		野菜	面積		
			千円		
	花き	面積			調査中(これまでのところ被害報告なし)
		千円			
	その他	面積			調査中(これまでのところ被害報告なし)
		千円			
	農業用非共同利用施設 (パイプハウス等)	面積			調査中(これまでのところ被害報告なし)
		千円			
	農業用共同利用施設	面積	調査中	松江市、出雲市、 安来市、雲南市、 飯南町	■松江市 2件 ・米関連施設ほか(床の盛り上がり、壁の崩れ) ■出雲市 1件 ・穀物関連施設(下屋部鉄骨が湾曲) ■安来市 6件 ・米関連施設ほか(床損傷、配水管の一部損傷、製品保管庫内コンクリートにひび、屋根の裂け、地盤沈下、窓枠のずれ等) ■雲南市 1件 ・農業用倉庫(屋根裏板が一部剥がれ) ■飯南町 1件 ・米関連施設(壁面にひび)
		千円	調査中		
	畜産	肉用牛	件数		調査中(これまでのところ被害報告なし)
			千円		
		乳用牛	件数		調査中(これまでのところ被害報告なし)
			千円		
	小計	千円	0		
造林地等 (造林地、苗木、苗畑施設等)		箇所			調査中(これまでのところ被害報告なし)
		千円			
林産施設等 (林産物、林産施設、林産加工施設)		箇所	1	安来市	安来市の原木椎茸生産者の椎茸棺木15,000本が倒伏 棺木からの一部椎茸の落下による損傷・廃棄
		千円	調査中		
水産物・水産施設	養殖施設	箇所		境港市	被害なし
		千円			
	漁船等	数量			被害なし
		千円			
	漁具等	件数			被害なし
		千円			
	水産物等	箇所			被害なし
		千円			
	その他	箇所	1		(県内漁協の)製氷工場内の機械故障
		千円	1,000		
	小計	千円	1,000		
漁港	防波堤	箇所			被害なし
		千円			
	物揚場	箇所			被害なし
		千円			
	泊地	箇所			被害なし
		千円			
	臨港道路	箇所			被害なし
		千円			
	海岸	箇所			被害なし
		千円			
	小計	千円	0		
その他		千円			
合計		千円	31,300		

中海の養殖サルボウガイの貝毒による出荷自粛について

1. 経緯等

- 昨年 12 月 10 日に実施した貝毒検査の結果、中海で養殖されているサルボウガイ（赤貝）から、国の定める規制値（0.16mgOA 当量/kg）を超える下痢性貝毒が検出されたため、県は島根県貝毒対策指針に基づき、中海漁業協同組合に対しサルボウガイの出荷自粛を要請

- 出荷自粛の期間

令和 7 年 12 月 10 日～令和 8 年 1 月 7 日

- ※出荷自粛解除の条件

貝毒検査（週 1 回実施）の結果が 3 週続けて規制値以下

貝毒検査の結果（単位 mgOA 当量/kg）

12/10 : 0.29、12/16 : 0.17、12/23 : 0.11、12/30 : 0.07、1/7 : 0.08

【中海のサルボウガイ養殖の状況】

- ・平成 23 年度からの試験養殖を経て、令和 5 年 9 月から区画漁業権に基づき養殖を開始
- ・養殖漁業者 30 名
- ・令和 7 年漁期の生産見込みは約 3 トン（前年 5.8 トン）

2. 県の対応

- ・需要が最も高くなる年末から年始に出荷が出来ないことや、出荷自粛期間の延長も想定されたことから、経営への影響を考慮し、緊急支援として既定制度を活用して無利子の融資制度を創設

※令和 7 年度小型するめいか釣り漁業緊急支援資金の対象者に中海のサルボウガイ養殖漁業者を追加（新たな予算措置なし）

- ・引き続き、貝毒監視の強化や情報収集を実施

【融資制度の概要】

資 金 名：令和 7 年度小型するめいか釣り漁業者及びサルボウガイ養殖漁業者緊急支援資金

融 資 枠：2 億円

対 象 者：するめいかの採捕停止命令を受けた漁業者及び出荷自粛した中海漁業協同組合所属のサルボウガイ養殖漁業者

限 度 額：①簿記記帳を行っている場合

年間経営費の 5/12 又は粗収益の 5/12 に相当する額の
いずれか低い額

②①以外の場合 500 万円

償還期間：10 年以内（うち据置期間 3 年以内）

融資機関：JF しまね、日本海信用金庫、島根中央信用金庫

融資利率：県の利子補給等により全期間無利子

取扱期間：令和 7 年 12 月 22 日から令和 8 年 3 月 31 日申込分まで